

熊取町議会委員会会議録

都市計画道路建設促進特別委員会

平成29年2月10日開催

熊 取 町 議 会

目 次

[都市計画道路建設促進特別委員会]
都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況について …………… 1

都市計画道路建設促進特別委員会

月 日 平成29年2月10日（金曜）招集

場 所 熊取町役場北館3階大会議室

出席委員	委員長	文野慎治	副委員長	江川慶子
	委員	坂上昌史	委員	二見裕子
	委員	服部脩二	委員	河合弘樹
	委員	坂上巳生男	議長	重光俊則

欠席委員 なし

説明員	町長	藤原敏司	副町長	中尾清彦
	企画部長	貝口良夫	総務部長	南和仁
	総務部理事	阪上敦司	事業部長	泉谷徹
	事業部理事	田畑洋	まちづくり 計画課長	馬場高章
	道路課長	白川文昭		
事務局	局長	阪上清隆	書記	阪上章

付議審査事件

- 1) 都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況について

委員長（文野慎治君）皆さんこんにちは。皆様方には、本特別委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本日の審議に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長、副町長ほか関係職員の出席を求めています。

ただいまの出席委員は7名全員であります。定足数に達しておりますので、これより都市計画道路建設促進特別委員会を開会いたします。

（「15時00分」開会）

委員長（文野慎治君）本日の案件は、都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況についての件であります。

なお、発言をされる方は、必ずマイクを使っていただきますようお願いいたします。

それでは、本件について説明を願います。白川道路課長。

道路課長（白川文昭君）それでは、都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況についてご説明いたします。

資料の1ページをごらんください。

1点目の「大阪岸和田南海線」のこれまでの経過につきましては、平成24年3月策定の大阪府都市整備中期計画により現道拡幅区間が条件つきで事業再開されたため、現道拡幅区間において北側歩道整備に取り組んでいただいているところです。

4ページ、資料2をごらんください。

今年度におきましては、町道青葉台8号線から東側に約100メートルの歩道整備が完了するとともに、青葉台自然公園用地の道路事業用地取得が行われたところです。

済みません、また、1ページのほうにお戻りください。

次に、平成28年3月、大阪府において都市整備中期計画（案）の改定がされ、8月には、別冊参考資料（案）に「大阪岸和田南海線」及び「泉州山手線」も含めた事業路線ごとの建設事業計画が

公表されたところですが。

②第1期事業区間の状況及び③第2期事業区間の状況につきましては、済みません、改めて4ページの資料2を見ていただきまして、ご説明させていただきます。

泉佐野市界から熊取町道芦谷線までの第1期事業区間につきましては、平成28年度から32年度の5年間において4車線での概成区間と位置づけられたところで、既に4車線化に向け、未買収地が残る400メートル区間において、道路詳細設計修正委託及び用地測量委託を発注し、実施いただいているところです。

また、府道泉佐野打田線から国道170号（大阪外環状線）までの2期事業区間600メートルにつきましては、同じく平成28年度から32年度までの5年間において着手する区間と位置づけられたことから、既に今年度におきまして、府道泉佐野打田線から住吉川までの300メートルの区間について用地測量委託を発注いただいているところです。

5ページ、6ページにつきましては、大阪府都市整備中期計画（案）別冊参考資料（案）を資料3として添付してございます。

最終6ページの表、左方につけております丸印の一番上が「大阪岸和田南海線」の第1期事業区間について、2番目の丸印が第2期事業区間について、また、3番目の丸印が、引き続きご説明させていただきます「泉州山手線」について位置づけされたものでございます。

何度も済みません、2ページのほうにお戻りいただきまして、2点目の「泉州山手線」の状況につきましては、先ほどご説明させていただいたとおり、「大阪岸和田南海線」と同様に、平成28年8月に、別冊参考資料（案）において、岸和田市の磯之上山直線から国道170号（大阪外環状線）までの区間について、地元市町による災害時の活動拠点整備の具体化とあわせ都市計画変更など必要な手続の見込みが立った段階で事業内容を精査し、区間を定めて実施する路線と位置づけられたところです。

現在の状況としましては、岸和田市の磯之上山直線から本町大阪外環状線までの約9.5キロについて、道路概略設計委託を実施いただいているところです。

また、本町におきましては、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、熊取町で組織しております泉州山手線整備推進協議会におきまして、平成28年8月10日には大阪府知事宛てに早期事業化の要望を行ったほか、本年1月27日には大阪府と担当部長協議を実施したところです。

これまで進捗が図られていなかった「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」につきましては、大阪府都市整備中期計画（案）に位置づけられたことから、今後、着実に事業進捗が図られるものと考えてございます。

なお、大阪外環状線の4車化につきましては、今回の見直し改定の大阪府都市整備中期計画においては触れられておりませんが、「大阪岸和田南海線」の完成の後において引き続き実施する道路と聞いてございます。

今後におきましても、事業主体の大阪府に対しまして、あらゆる機会を通じ、積極的に事業推進を要望してまいりますので、議員皆様方におかれましても、ご協力、ご支援のほどよろしく願いたします。

以上で、都市計画道路の状況について説明を終わります。

委員長（文野慎治君）以上で説明を終わります。

それでは、質疑を行います。質疑はありますか。坂上巳生男委員。

委員（坂上巳生男君）第2期事業区間が計画の中に位置づけられたということなんですが、平成28年から32年度までの間で着手するというので、計画に位置づけられたことは非常に喜ばしいことなんですが、ここでいう着手というのは、もう既に測量委託が始まっているということなんですが、用地買収等にまで進んでいくとか、その辺の着手の中身がどこまで行くのか、その辺は、もしわかっておればお教え願いたいんですが。

委員長（文野慎治君）白川道路課長。

道路課長（白川文昭君）今の着手の意味としましては、何らかの形、今回、用地測量を発注したと、予算化ができるという状態が着手、やっと計画に位置づけられたことから、予算化して、まず、第1段目の用地測量業務に着手したという段階でございます。

次年度以降の予定につきましては、岸和田土木事務所のほうで積極的に事業推進に向けた予算要求を府のほうでは図っているという状況はお伺いしておりますが、最終的に決定される状況のものでは今のところございませんので、岸和田土木事務所としましては、用地測量、それから、その後には速やかに用地取得交渉に当たっていくという状況で動いているということをお伺いしておりますが、その時期については明確に示していただいているものではございません。

以上です。

委員長（文野慎治君）坂上巳生男委員。

委員（坂上巳生男君）はい、わかりました。

第1期事業区間については、32年度までの間で、これはほぼ完成形になるということのようなんですけど、そうしますと、現在まだ予定区間であって、用地未買収のところが残っているわけなんですけど、その辺も、それはもうきちんと買収もされ、必要な工事もされていくと、そういうふう解釈してよろしいんですね。

委員長（文野慎治君）白川道路課長。

道路課長（白川文昭君）はい、おっしゃるとおりで、この32年までのこれから5年間で4車線での完成を目指してスタートを切っていただいております。先ほど説明させていただいたように、今までは暫定拡幅という形で2車線の詳細設計をかけておたんですけれども、今年度既に4車線のこの1期区間全ての詳細設計の修正業務というのを発注いただいております。で、用地測量についても、今、鋭意、境界確定のほうの作業については、町の道路課におきましても、町道敷でありますとか、関連します里道水路敷の立ち会いをととも鋭意進めているところでございます。その後には、最終的には工事というところになるんですけれども、用地取得という状況を踏まえて、事業完了には5年で整備完了を目指しているという状況のものでございます。

以上です。

委員長（文野慎治君）坂上巳生男委員。

委員（坂上巳生男君）4車線での利用ということなんですけど、この岸南線については、随分前からさまざまな形で要望活動を行ってきたわけなんですけど、4車線ということについては、前々から、この部分だけ4車線になっても、結局、接続する泉佐野打田線ですとか、あるいは最終的に2期事業が完成したとしても、外環のほうが4車線でない状態ですから、岸南線だけ4車線にしても、かえって接続する部分での混雑が生じるとか、そういう理由で4車線化が難しいと、だから暫定2車線でいくんだということで説明を聞いているんですけど、4車線で完成形を目指すということの決断が下されたというのは、ちょっと複雑な思いがあるんですけど、その辺のいきさつはどうなんでしょうか。

委員長（文野慎治君）白川道路課長。

道路課長（白川文昭君）4車線での供用を一気に開始するかどうかというのは、済みません、ちょっと私どものほうでも、その辺はまだ不明確なところでございます。今、委員がおっしゃられたように、周りの交通量を見ながら、まずは2車線での供用、今、バイパス区間がそういう状況でありますので、そういう形で開放されると思います。ただし、事業の位置づけとしましては、用地取得を4車線で行うという中で4車線化という言葉が出てくるものでございます。

先ほど言われたように、やはり熊取町としましては岸南線4車化、一旦は暫定で2車線で開放されるのかもわかりませんが、4車化、それから接続される大阪外環状線の4車化については、強く、今、要望しているところでございます。

以上です。

委員長（文野慎治君）よろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。

(発言する者なし)

以上で質疑を終わります。

これをもって、都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況についての件を終了いたします。

以上で本日の案件が終了いたしました。

その他、何かご報告等があれば承ります。

ありませんか、いいですか。

(発言する者なし)

ないようですので、以上で都市計画道路建設促進特別委員会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

(「15時16分」閉会)

以上の委員会の次第は議会議務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

都市計画道路建設促進特別委員会委員長

文野慎治